

I 第46週の発生動向 (2016/11/14~2016/11/20)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 感染性胃腸炎については、弘前保健所では患者報告数が1人減少しましたが、他のすべての保健所管内で報告数が増加しました。感染性胃腸炎は、毎年秋から冬にかけて流行するので、今後の発生動向に注意が必要です。
3. インフルエンザの患者報告数は14人で、迅速診断キットによる型別はすべてA型でした。国立感染症研究所によると、第44週(10/31~11/6)現在、全国的には、過去5年間の同時期と比較して患者報告数がかかなり多いとのことですので、今後の発生動向に十分注意が必要です。
4. 咽頭結膜熱については、第42週から増加傾向が続いています。2015年には、第50週と第51週に患者報告数がピークとなりましたので、今後の発生動向に注意が必要です。

II 第46週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															8
小児科	RSウイルス感染症															-14
	咽頭結膜熱															5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎															9
	感染性胃腸炎															56
	水痘															6
	手足口病															-9
	伝染性紅斑															8
	突発性発しん															4
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ															-5
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎															-6
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

細菌性赤痢 (三類感染症)

細菌性赤痢は、赤痢菌の経口感染で起こる急性感染性大腸炎です。非常に少ない菌量でも感染することがあります。

通常、1~3日の潜伏期の後に、全身の倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1~2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状を呈します。

昨年までの過去5年間をみると、全国では、2011年から2013年までは減少していましたが、それ以降はほぼ横ばいです。一方青森県では、2011年に2人、2015年に1人の患者が報告されました(図)。2016年には10月に2人の患者が報告されています。

細菌性赤痢は、世界中でみられる感染症ですが、近年、日本で発生している細菌性赤痢の多くは国外感染及びそれらの感染者からの二次感染等と推定されていますので、海外への渡航に際しては、渡航先の流行状況を把握し、流行地へ渡航する場合は、生水、氷、生もの等を避けることが重要な予防法となります。

○詳しくはこちらをご覧ください→[国立感染症研究所\(細菌性赤痢\)](#)

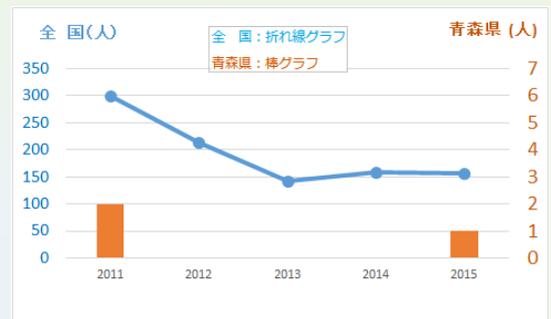


図 全国及び青森県の細菌性赤痢患者報告数(2011年~2015年)

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：弘前4人、八戸1人、五所川原1人 (2016年計:266人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計:97人)
- ・つつが虫病(四類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計:8人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人 (2016年計:21人)
- ・破傷風(五類全数把握疾患)：八戸1人 (2016年計:2人)

Ⅳ 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第43週～2016年第46週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病2人 アメーバ赤痢1人 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		細菌性赤痢1人 アメーバ赤痢1人			
44	H28.10.31 ~ H28.11.6	腸管出血性大腸菌感染症1人			レジオネラ症1人		
45	H28.11.7 ~ H28.11.13	梅毒1人					
46	H28.11.14 ~ H28.11.20	腸管出血性大腸菌感染症1人	つつが虫病1人 梅毒1人	梅毒1人 破傷風1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第43週～2016年第46週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	4		2	2		
44	H28.10.31 ~ H28.11.6		2	2			1
45	H28.11.7 ~ H28.11.13		3	1		4	
46	H28.11.14 ~ H28.11.20		4	1	1		

Ⅶ 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第45週累計)

疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	20821	9	109	3396	50	19	321	251	18	5
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回歸熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	9	57	1	14	172	315	260	10
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバベネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	5	46	8	1397	71	983	247	1321	671
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	13	154	442	1248	61	261	39	2216	260	3874
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症				
累積報告数	111	112	48	119	154	32				

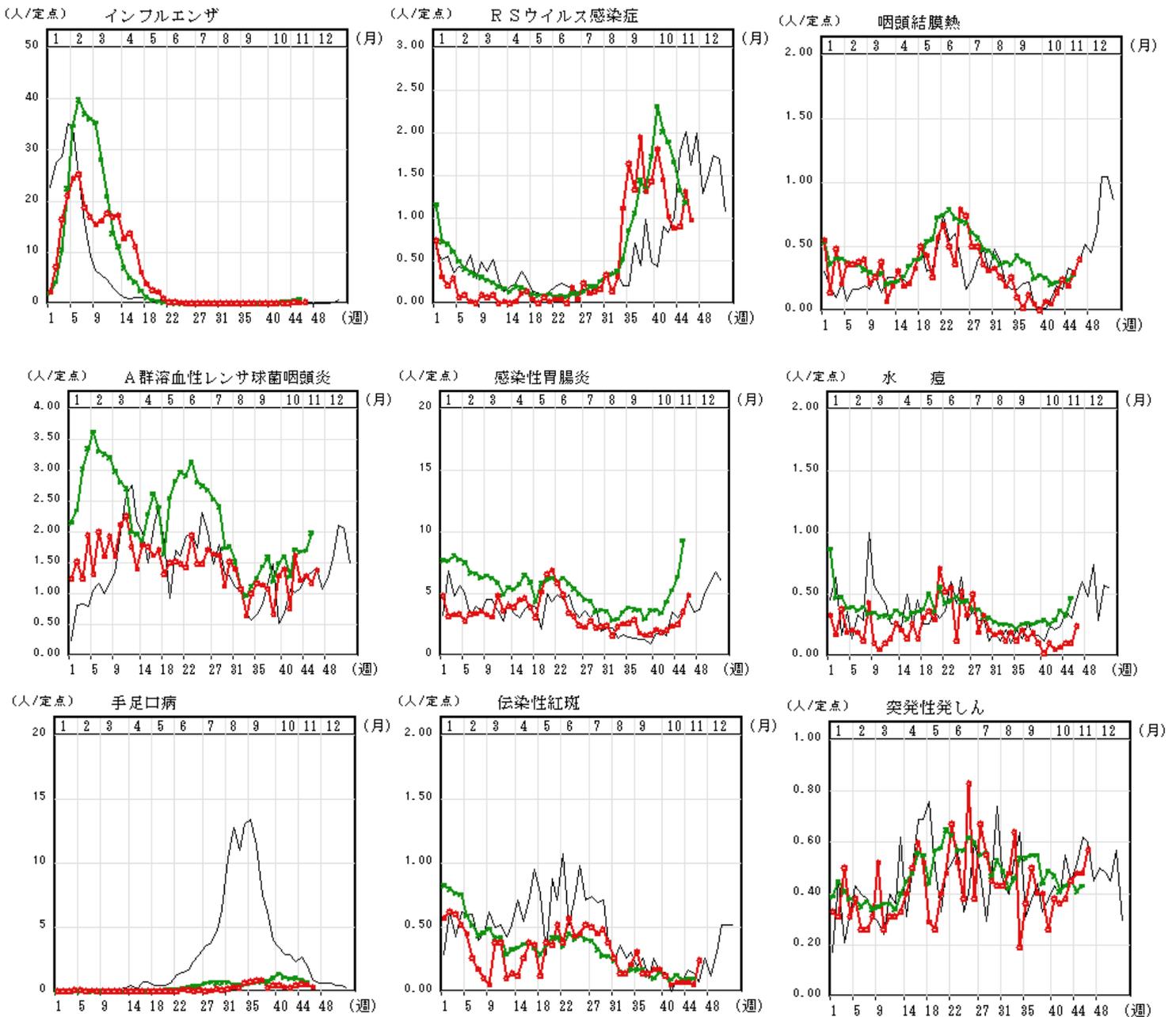
青森県 (2016年第1週～第46週累計)

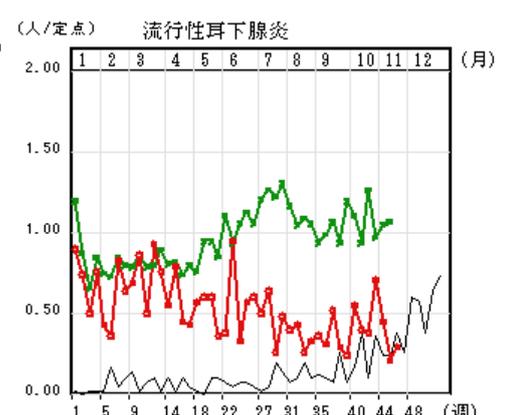
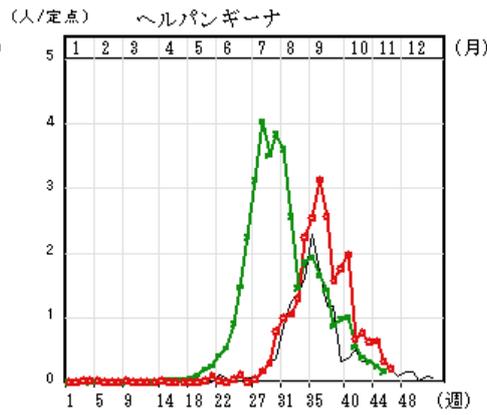
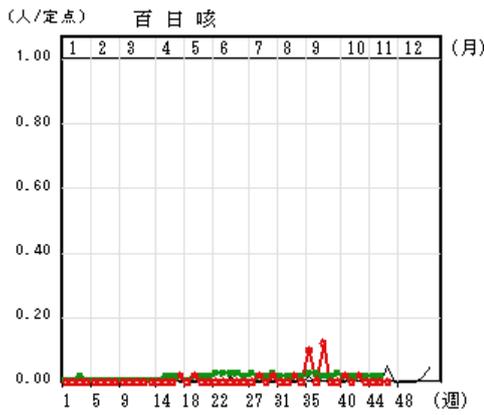
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	266	2	97	5	3	1	8	6	5	14

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	3	3	3	8	3	21	2

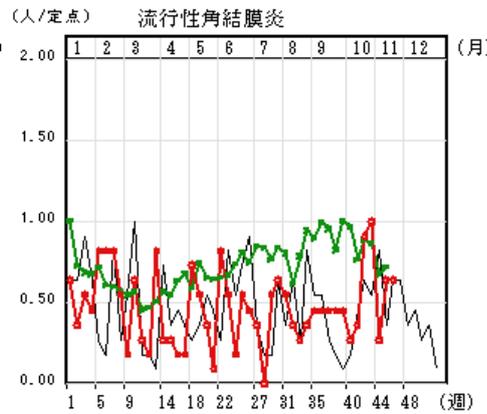
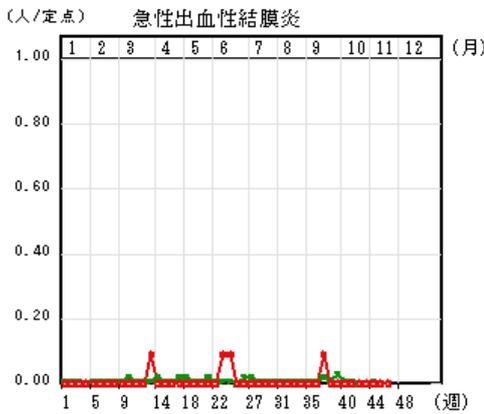
VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第46週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、—は2015年青森県、×—×は2016年全国

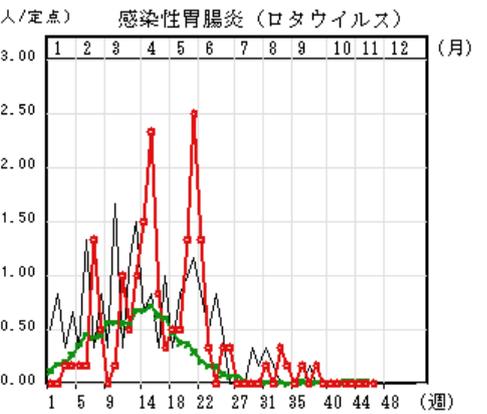
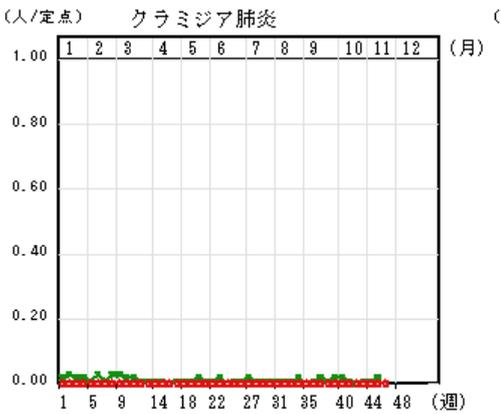
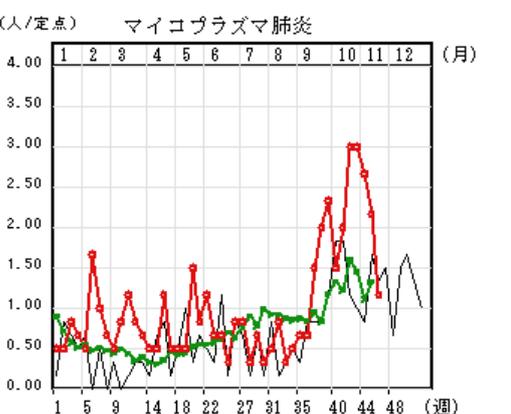
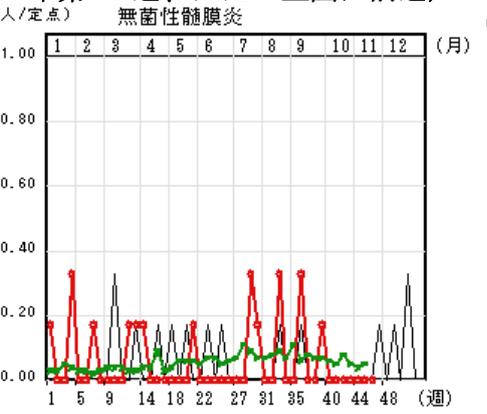
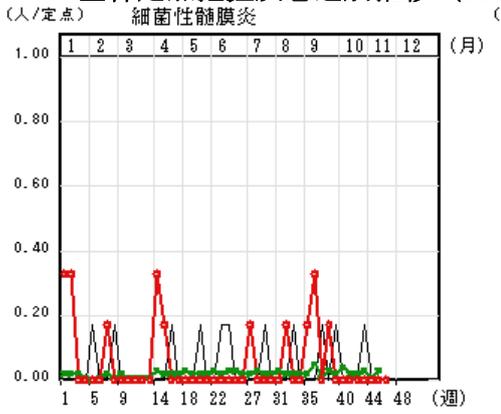




IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第46週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第46週、ただし全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第46週

報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44週	45週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	6
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	0	23	114
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	0	1	17
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	0	23	331